

わ

が

街

わ

が

故

郷

## 株式会社天辻鋼球製作所 東京支店とその周辺

会社名 株式会社天辻鋼球製作所東京支店  
所在地 〒105-0003  
東京都港区西新橋 2-13-3  
電話番号 03-3591-2321

弊社は1920年（大正9年）8月に創業しました。現在の大阪市淀川区に事務所と工場を開設、国産鋼球専門メーカーの第一号として自転車の炭素鋼球の生産を開始しました。

その後、1933年（昭和8年）12月20日に株式会社となり、1937年（昭和12年）12月から軸受用鋼球の本格生産を始めました。

東京支店は1938年（昭和13年）に東の営業拠点として中野区鷺宮に開設されました。（当時は東京出張所）

その後、1951年（昭和26年）に現在の場所に移り、東京支店としました。



東京支店

今回は当支店の周辺について紹介致します。

まずは、官庁街として有名な「霞ヶ関」について紹介致します。

「霞ヶ関」という地名の由来には諸説ありますが、古くは、日本武尊が蝦夷に備えて設けられたもので、雲霞を隔てる地であったことからつけられたという伝説があります。

また、江戸期以前、荏原郡の東境にあった奥州路の関名によるとも言われております。

明治初期の官庁は、武家屋敷を利用したものが多く、皇居周辺を中心に点在していました。現在の霞ヶ関に初めて立地したのは、明治3年の外務省と言われています。

昭和11年には現在の国会議事堂が完成し、その後、合同庁舎の第1号として中央合同庁舎第1号館が昭和29年に完成しました。平成19年度には中央合同庁舎第7号館が完成する予定です。



国会議事堂

今では、サラリーマンの街として定着している「新橋」。新橋の駅前のS L広場では、テレビ番組等でインタビューされているサラリーマンをよく見かけます。



S L広場

歴史的に有名なこととしては、鉄道発祥の地であるということです。1872年（明治5年）、新橋－横浜間に日本で初めての鉄道が開業しました。当時の駅は現在よりも東に約200mの所にありました。

2003年4月には当時と同じ場所に開業当時の外観で旧新橋停車場が完成しました。この中には、「鉄道歴史展示室」等が設置されており、入場無料で見学できます。展示室には鉄道の歴史や汐留界隈の郷土史等が展示されており、興味深く見学することができます。



旧新橋停車場

新橋の東には、「築地市場」があります。

築地市場の歴史を見てみると、江戸時代初期（1603年頃）、幕府を開いた徳川家康が、江戸城

内の台所をまかなうため大阪の佃村から漁師たちを呼び寄せ、江戸湾内での漁業の特権を与え魚を幕府に納めさせ、その残りを日本橋で売るようになったのが始まりとされています。



魚河岸発祥記念碑

大正12年には、「中央卸売市場法」が制定され、東京市が指導、運営し、衛生的で公正な取引による価格と品質の安定を目指しました。しかし、同年関東大震災が東京を直撃し、日本橋の魚河岸はその幕を閉じました。

昭和10年、築地に広さ約23万平方メートルの東京都中央卸売市場が開設され、市民生活を支える大きな力となったのです。

現在、東京都中央卸売市場は首都圏の食生活をまかなう生鮮食料品などの流通の一大拠点に発展し、中でも築地市場は日本最大の魚市場になりました。

最後に「出世の石段」で有名な愛宕神社について紹介致します。

名 称 愛宕（あたご）神社

主祭神 火産霊命（ほむすびのみこと）

御利益 火に関するもの：防火、防災

商売繁盛、恋愛、結婚、縁結び

愛宕神社に上がる石段は「出世の石段」と呼ばれています。その由来は講談で有名な「寛永三馬術」の中の曲垣平九郎（まがきへいくろう）の故事にちなみます。その故事を簡単に紹介致します。

寛永11年、江戸三代将軍、家光公が将軍家の菩提寺である芝の増上寺に参詣の帰りに、ここ愛宕神社の下を通りました。愛宕山には源平の梅が咲き誇っており、家光公は「誰か馬にてあの梅を取って参れ！」と命じましたが、この愛宕山の石段はとても急勾配です。馬でこの石段を上って梅を取ってくるなど、とてもできそうにありません。

しかし、この石段をパカッ、パカッ、パカッと上り始めた者がおりました。この人こそ曲垣平九郎であり、平九郎は見事、山上の梅を手折り、馬にて石段を上り下りし、家光公に梅を献上致しました。この時、平九郎は家光公より「日本一の馬術の名人」と讃えられ、その名は一日にして全国にとどろいたと伝えられております。

この故事にちなみ、愛宕神社正面の坂（男坂）を「出世の石段」と呼び、毎日多くの人が、この男坂の出世の石段を上って神社にお参りに行っております。



出世の石段

実際に神社に行ってみました。真下から見ると本当に急勾配で、86段の石段を登りきると息が切れるほどです。そして、下を見ると高所恐怖症の人であればめまいがするようなほどで、実際に下りる時には手すりにつかまって下りないと怖いくらいです。

愛宕神社に行かれた時には、同じ愛宕山の上にあるNHKの放送博物館に立ち寄られてみてはいかがでしょうか。現在でこそ博物館になっていますが、ここはNHKの発祥の地であり、NHKの第一声は、ここ愛宕山から始まったのです。ちなみに日本で初めての生中継は、岩木利夫氏が馬で愛宕神社の石段を上った状況を中継したものです。

放送博物館は平成8年3月にリニューアルされ、懐かしい映像を鑑賞したり、テレビなどで使われる映像や音声の仕組みなどが体験できるスペースになっています。

(株式会社天辻鋼球製作所 東京支店 西村 勝己)